

フレア・イメージャー

1. 背景 & 概要

背景	◆ システムの高機能化に伴い、新規センサの採用が進んでいる。 ◆ 住宅分野においては、フレア(火炎)・イメージャーの重要性が増している。
概要	◆ ガス調理器の火炎状態を検知し、火力をコントロールすることで下記の機能を実現する。 ①衣服等への引火の危険性の軽減 ②最適火力の調整で燃料費節減とCO2削減 ◆ コンロ上のレンジフードから下記の状況差による火炎の形状を検知する。 ③調理器具の大きさ、底形状の違い ④コンロとの位置ずれ ◆ 火炎を含む周囲温度の下記スペックを2軸とした見える化指標を採用する。 ①検知距離[m] vs 温度分解能[°C] ②検知距離[m] vs エリア分解能[cm²]
目的	◆ 本テーマでは、火炎形状を検知可能なフレア・イメージャーの提案を募集する。 ◆ システム構築に必要なシーズの提案を募集する。 (イメージャー単体、画像認識技術、etc.)